

2026 年度
創発的研究支援事業
研究提案書 記入要領

提案には、e-Rad の研究者 ID 登録が必須です。

- (注意1) e-Rad にアップロードされた提案書に審査を困難とする不備がある場合は、不受理といたしますので、ご注意ください。「審査を困難とする不備」とは、提案書各様式（特に様式1：提案書表紙）の抜け、査読を困難とする文字化け、提案書記載項目の重大な記入漏れ等を指します。なお、JST は、提案の受理・不受理を問わず、募集締切時刻までに発生する提案書の不備について一切の責任を負いません。従って、募集締切時刻までに、JST は研究提案者に事前確認の上での提案書の訂正もしくは、研究提案者に対する訂正依頼行為の一切を行わないことにつき、あらかじめご承知おきください。また、募集締切後の e-Rad 上での引戻し処理はできません。
- (注意2) e-Rad と研究提案書双方に記載欄がある事項について、記載内容が異なる場合は、原則、研究提案書の情報を正として対応します。

研究提案書(様式)の記入要領

提出書類の一覧は以下のとおりです。次ページ以降の研究提案書の記入要領に従い、研究提案書を作成してください。提案書様式は必ず本年度の様式を使用してください。

様式番号	書類名
様式1	2026年度募集 創発的研究支援事業提案書 基本事項 (1ページ以内)
様式2	研究構想の要旨(2ページ以内)
様式3	研究提案の独創性・優位性(5ページ以内)
様式4	目標・研究計画(2ページ以内)
様式5	研究・活動実績(一部ページ数制限あり)
様式6	他制度での助成等の有無(ページ数制限なし)
様式7	特記事項(2ページ以内)

- ※ ファイルの容量は 3 MB 以内を目途に作成ください。
- ※ 研究提案の応募方法については、募集要項「第 5 章 府省共通研究開発管理システム(e-Rad)による応募方法等について」をご参照ください。
- ※ 応募にあたっては、募集要項「第 4 章 応募に際しての注意事項」をご理解の上、ご応募ください。

様式2 研究構想の要旨

- ※ 様式2は、A4用紙2ページ以内（厳守）としてください。
- ※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。
- ※ 以下の観点から評価を行います。
事業等の趣旨に合致していること。
- ※ 募集要項「2.1 公募の対象となる研究提案」及び募集要項「2.9 選考の観点」を必ずご確認ください。
- ※ 創発的研究支援事業の趣旨を踏まえたうえで、様式3（研究提案の独創性・優位性）のうち、項目「①研究の背景」に対応する内容を中心に簡潔に記述し、項目②から④、および様式4（目標・研究計画）に対応する内容はそれを理解する上で最小限の記述としてください。なお、研究構想の妥当性や実現性に係る科学的・技術的な評価は、主として様式3により行います。
- ※ 様式3（研究提案の独創性・優位性）とは異なり、業績リスト（様式5_1._(2)業績リスト・過去の研究代表実績、ならびに様式5_2._(1)主要論文の概要及び研究提案者の貢献にて示した論文等の番号）を引用することはできません。

様式3 研究提案の独創性・優位性

- ※ 様式3は、A4用紙5ページ以内（厳守）としてください。
- ※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。
- ※ 以下の観点から評価を行います。
 - 提案内容が独創性・優位性を有していること。
- ※ 関連分野の国内外の研究等の現状と動向を踏まえて、世界の中での本提案の独創性や独自性、優位性を明確に示してください。
- ※ 必要に応じて、競合研究の具体的な内容にも触れて説明してください。また、研究提案者自身のこれまでの研究の成果、研究構想を実現する基盤となる施設・設備、その他の予備的な知見やデータ等の準備状況にも触れて説明してください。
- ※ 必要に応じて研究・活動実績（様式5）の記載内容を適切に引用し、研究・活動実績と研究構想との関係が明確になるようにしてください。引用にあたっては、研究・活動実績にて示した論文・著書番号を用いることもできます。

① 研究の背景

本研究構想に至った背景・経緯となぜ本研究構想を実施しようとしているのかを説明してください。

② 将来展望

本研究構想における成果が、募集要項 2.1 ①～⑤のいずれかに該当し、将来的にどのように「破壊的イノベーションにつながるシーズ」の創出に寄与するか、前述の「①研究の背景」の内容も踏まえ、創発的研究を通して目指す将来展望について具体的に説明してください。

③ 創発的研究において挑戦する研究内容

本研究構想でどのような研究課題に挑戦しようとしているのか、また、その重要性について具体的に説明してください。研究手法について記載する場合は、既存手法と比較の上、なぜその手法を選択したかについても言及してください。研究提案者の研究室所属外の研究参加者がいる場合は、ご自身が実施する研究内容と当該研究参加者が実施する研究内容が評価者に分かるように、区別して記載してください。

④ 前回提案との差異・改善点

創発的研究支援事業に応募したことがある研究者については、前回の提案との差異や改善点を記入してください。なお初回提案の場合や、前回から提案内容が大きく異なる場合は、その旨を記入してください。

様式4 目標・研究計画

「フェーズ1における研究計画」、「フェーズ1の研究スケジュール」共通の記載ガイド

※ 様式4の「フェーズ1における研究計画」と「フェーズ1の研究スケジュール」は、合わせてA4用紙2ページ以内（厳守）としてください。

※ 以下の観点から評価を行います。

実施計画が具体的かつ適切であること。

※ 目標の達成に向け、具体的な実施内容や計画を記載してください。全体としてどのようなアプローチ（予想される問題点とその解決策を含む具体的手法、進め方）をとり、どのようなスケジュール、マイルストーン(研究途上での節目となる到達点・達成事項、研究の達成度の判断基準とその時期)を設定し、研究を実施するのかわかるように記載してください。

フェーズ1における研究計画

「フェーズ1における研究計画」の記載ガイド

※ フェーズ1（研究開始から3年間）の目標を記載してください。さらに、フェーズ1で実施する具体的な研究項目と、その進め方（予想される問題点とその解決策等を含む）を主要な研究項目ごとに記述してください。

研究を進める上での手掛かりとして予備的な知見・データがあれば説明してください。

※ 評価者が理解しやすいよう、必要に応じて図表(カラー可)を用いて記載してください。図表で使われる文字には、指定のフォントスタイルやフォントサイズはありません。

フェーズ1の研究スケジュール

「フェーズ1の研究スケジュール」の記載ガイド

※「フェーズ1の研究スケジュール」はA4用紙1ページ以内(厳守)で記述してください。

※下記の例を参考にフェーズ1(3年間)の主な研究スケジュールを記入してください。

※研究項目が複数ある場合は、できるだけ項目別のスケジュールが分かるように記入してください。

※矢印の位置、長さ、太さは自由に変更して構いません。

【記入例】

研究項目	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
1. ○○関連遺伝子発現解析				
・○○遺伝子の同定		→		
・○○遺伝子発現解析		→		
2. ○○モデル動物の開発と検証				
・○○モデル動物の開発		→		
・○○モデル動物の検証		→		
3. ○○イメージング解析				
・○○関連データの取得		→		
・○○ソフトの開発		→		
・データ解析		→		
4. ○○診断法の開発				
・○○相関の解明		→		
・診断法の開発と検証		→		

様式5 研究・活動実績

※ 以下の観点から評価を行います。

提案内容の遂行に必要な研究遂行能力を有していること。

1. 研究提案者

※ 「1. 研究提案者」にはページ数制限はありません。

(1) 研究者情報等

博士号取得 情報及び学 歴	<p>20XX年 ○○大学○○学部卒業</p> <p>20XX年 ○○大学大学院○○研究科修士課程○○専攻修了</p> <p>20XX年 ○○大学大学院○○研究科博士課程○○専攻修了</p> <p>博士号取得年月日：(西暦)○年○月○日 (2026年4月1日時点、取得後○年)</p> <p>取得機関：○○大学大学院○○専攻 種類：○○学博士</p> <p>※2011年4月1日博士号取得の場合、2026年4月1日時点で、取得後16年となります</p>
博士号取得 における特 記事項	<p>※募集要領「2.6.1 応募者の要件 (2) 研究提案者の要件 f.」において、②③④に該当する場合 (博士号取得が2011年4月1日以前の場合) は、その詳細や理由を記入すること。加えて③④に該当する場合は、母子手帳写し、要介護認定証明書写し等をe-Radから提出すること。</p>
研究歴 (主な職歴と研 究内容)	<p>20XX年～20XX年 ○○大学○○学部 助手</p> <p style="padding-left: 40px;">○○教授研究室で○○○○○について研究</p> <p style="padding-left: 40px;">20XX年X月～20XX年X月 出産・育児休業</p> <p>20XX年～20XX年 ○○研究所 研究員</p> <p style="padding-left: 40px;">○○博士研究室で○○○に関する研究に従事</p> <p>20XX年～20XX年 ○○大学○○学部 教授</p> <p style="padding-left: 40px;">○○○について研究</p>
研究者情報	<p>URL:</p> <p>※researchmapのURLを記入してください。なければ、研究・活動実績等の情報を収載しているサイトのURLを記入してください。</p> <p>※評価において、評価者が必要に応じて参照します。</p>
英語論文で の著者表記	<p>※フルネームで正確に記入してください。</p>
独立に関す る条件の満 足状況	<p><input type="checkbox"/> 自己の研究に係る論文について、責任著者の立場にあること</p> <p><input type="checkbox"/> 大学院生等の指導に責任を持つこと、又は持つ立場にあること</p> <p><input type="checkbox"/> 研究グループを組織して研究を行う場合は、そのグループの責任者であること</p> <p><input type="checkbox"/> 研究室を持つこと</p>

※該当するものにチェックを入れてください。詳細は募集要項「2.6.1 応募者の要件 (3) 独立に関する条件」を参照ください。独立状況に関する補足事項等があれば様式7に入力すること（本欄はチェックのみ）。
--

(2) 業績リスト・過去の研究代表実績

書類選考にあたって、評価者（創発 P0・創発 AD・外部専門家等）が論文データベースを検索し、業績の詳細を確認することがあります。このため、上記【研究提案者名の英語論文等での著者表記】をフルネームで正確に記入してください。なお、後述のリストに著者を記入する際は、T. Kagaku 等と略記して構いません。

① 主要な論文・著書・特許等

記載方法1～3のいずれかに従って記載してください。

〔記載方法1〕

researchmap「論文」一覧ページの URL を転記してください。

論文 (researchmap リンク) : 「論文」一覧ページの URL。

(例 https://researchmap.jp/xxxxxxx/published_papers)。

- ・可能でしたら、URL にハイパーリンクを設定してください。
- ・提案者が筆頭著者の場合は、researchmap の論文リストに筆頭著者マークが表示されるようにしてください (論文編集画面にて担当区分の「筆頭著者」にチェックを入れてください)
- ・提案者が責任著者の場合は、researchmap の論文リストに責任著者マークが表示されるようにしてください。(論文編集画面にて担当区分の「責任著者」にチェックを入れてください)
- ・researchmap「MISC」、「書籍等出版物」、「産業財産権」データを提案書に含める場合には、それぞれ以下の書式で追記してください。また、可能でしたら、URL にハイパーリンクを設定してください。

MISC(researchmap リンク) : 「MISC」一覧ページの URL (例 <https://researchmap.jp/xxxxxxx/misc>)

書籍等出版物 (researchmap リンク) : 「書籍等出版物」一覧ページの URL

(例 https://researchmap.jp/xxxxxxx/books_etc)

産業財産権 (researchmap リンク) : 「産業財産権」一覧ページの URL

(例 https://researchmap.jp/xxxxxxx /industrial_property_rights)

〔記載方法2〕

researchmap の「論文リスト」、「MISC」、「書籍等出版物」、「産業財産権」一覧ページから提案内容に関連する業績のみに絞り込んで記載する場合は、researchmap の業績一覧のうち、記載したい業績のデータ (論文の場合には、タイトル、著者、誌名、巻、号、出版年、担当区分 (筆頭著者、最終著者、責任著者、査読の有無、など) をそのまま提案書に転記 (コピー&ペースト) してください。

- ・可能でしたら、タイトルのハイパーリンク設定をそのまま残してください。
- ・提案者が筆頭著者もしくは責任著者の場合、そのことが分かるように必要に応じて追記してください。例えば下の〔記載方法3〕をご参照ください。
- ・著者が多数の場合には、下の〔記載方法3〕に従って記載しても構いません。
- ・受賞論文があれば、その旨を記載いただいても構いません。
- ・「書籍等出版物」および「産業財産権」については、記載するデータがなければ省略してください。

- ・ researchmap の「論文リスト」、「MISC」、書籍等出版物」、「産業財産権」に登録されていないデータを記載する場合には、下の〔記載方法3〕に従って追記してください。

〔記載方法3〕

提案者が researchmap に登録していないなど、researchmap のデータを活用しない場合には、以下の方法で提案書に記載してください。（積極的に researchmap に登録くださるよう、御協力をお願いします）

【論文の場合の記載例】

発表論文等名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、筆頭著者名、研究提案者名（順位/著者数）、最終著者名

- ・ 学術誌等に発表した論文、著書、特許等の業績のうち重要なものを、現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。
- ・ 記述にあたっては、行頭に連番を付けてください。その番号は、研究提案の独創性・優位性（様式3）の記述中で引用できます。
- ・ 論文の記載項目は以下のとおりとしてください（著書の場合はこれに準じてください）。項目順は自由です。

【記載項目】

発表論文等名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、筆頭著者名、研究提案者名（順位/著者数）、最終著者名（※責任著者に*をつけること、順位は筆頭著者を1とすること、単著の場合は1/1とすること）

例：科学太郎*、研究提案者（3/15）、創発花子

例：研究提案者（1/10）、創発花子*

例：科学太郎、創発花子、研究提案者名*（15/15）

- ・ 受賞論文があれば、その旨を記載いただいても構いません。

②主要な招待講演

記載方法1～3のいずれかに従って記載してください。

〔記載方法1〕

researchmap 「講演・口頭発表等」一覧ページの URL を転記してください。

講演・口頭発表等（researchmap リンク）：「講演・口頭発表等」ページの URL

（例 <https://researchmap.jp/xxxxxxx/presentations>）。

- ・ 可能でしたら、URL にハイパーリンクを設定してください。

〔記載方法2〕

researchmap の「講演・口頭発表等」一覧ページから提案内容に関連する招待講演に絞り込んで記載する場合は、researchmap の「講演・口頭発表等」一覧ページのうち、記載したい業績のデータをそのまま提案書に転記（コピー&ペースト）してください。

〔記載方法3〕

提案者が researchmap に登録していないなど、researchmap のデータを活用しない場合には、以下

の方法で提案書に記載してください。(積極的に researchmap に登録くださるよう、御協力をお願いします)

- ・研究提案者の主要な招待講演を、現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。
- ・記述にあたっては、行頭に連番を付けてください。

③主要な受賞歴

記載方法1～3のいずれかに従って記載してください。

〔記載方法1〕

researchmap「受賞」ページのURLを転記してください。

受賞(researchmapリンク):「受賞」ページのURL(例 <https://researchmap.jp/xxxxxxx/awards>)

- ・可能でしたら、URLにハイパーリンクを設定してください。

〔記載方法2〕

researchmapの「受賞」一覧ページから提案内容に関連する受賞に絞り込んで記載する場合は、researchmapの「受賞」一覧ページのうち、記載したい業績のデータをそのまま提案書に転記(コピー&ペースト)してください。

〔記載方法3〕

提案者がresearchmapに登録していないなど、researchmapのデータを活用しない場合には、以下の方法で提案書に記載してください。(積極的にresearchmapに登録くださるよう、御協力をお願いします。)

- ・研究提案者の主要な受賞歴を、現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。
- ・記述にあたっては、顕彰名(文部科学大臣表彰、ナイスステップな研究者の表彰等)を記載した上で、行頭に連番を付けてください。

④競争的研究費制度等において代表を務めた研究課題

募集要項「2.6.1 (2) 応募者の要件 g.」の確認のため、国の競争的研究費制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む）について、現在（2026年度）、研究代表者として受給中のもの、または、過去に研究代表者として受給したものをどれか一つご記入ください。なお、現在まで研究費を受給していない事情がある場合にはその理由をご記入ください。

※ 詳細は、募集要項「2.6.1 (2) 応募者の要件 g.」をご覧ください。

※ 公募による研究費を対象とします。ただし所属する研究機関内の研究者のみを対象とした公募は含みません。

制度名	研究課題名	研究期間	本人受給研究費 (2026年度以降に 受給予定があれば、その予定額を 含める)
		20〇〇.〇 - 20〇〇.〇	3,000 千円
<国の競争的研究費制度以外の研究助成等(民間財団・海外機関を含む)の場合の補足説明> ※助成制度の審査要領や助成金の用途がわかる Web サイト等があれば記載してください。			

<現在まで研究費を受給していない理由>

【注意事項】

- ・ 記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。
- ・ 面接選考の対象となった場合には、記載内容の詳細について問い合わせる場合があります。

⑤競争的研究費制度等において代表を務めた研究課題の事後評価

研究提案者が代表を務めた終了課題のうち、事後評価結果が公開されている課題の一覧を以下の表に記入してください（2021年度以降に公開されたものに限ります）。該当するものがない場合は、表を削除した上で該当がない旨記入してください。

番号	制度名	研究課題名 (実施年度)	事後評価結果掲載 Web ページの URL ※ご自身以外の課題が多数掲載されている場合は、評価者が確認しやすいよう、ご自身の課題の掲載ページ番号を付記してください。
1			
2			

2. 創発的研究を実施する上での遂行能力

(1) 主要論文の概要及び研究提案者の貢献（3件以内）

※ 「(1) 主要論文の概要及び研究提案者の貢献」にはページ数制限はありません。

【論文の場合の記載例】

発表論文等名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、著者名（全著者を記載し、責任著者に*をつけること）

※ 研究提案者の主要論文3件以内を、様式5の「1. (2) ①主要な論文・著書・特許等」から選択して記入してください。

※ 現在から順に発表年次を過去に遡って記述してください。

※ 記述にあたっては、行頭に連番を付けてください。

※ 論文の記載項目は以下のとおりとしてください（著書の場合はこれに準じてください）。項目順は自由です。

【記載項目】

発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、著者名（全著者を記載し、責任著者に*をつけること）

※ 各論文の研究に関して次のことを簡潔に記載してください。（各論文の下に記載してください。）
また、それぞれについて研究提案者の貢献についても記入願います。

【記載項目】

当該研究で何を明らかにしたのか、当該研究を推進する上で困難だったことは何か、その困難をどのように克服したのか

(2) アピールポイント・その他補足事項

※ 創発的研究を推進するにあたり、アピールすべき事項や補足すべき事項があれば、ご自由に記述ください。

※ 「(2) アピールポイント・その他補足事項」はA4用紙1ページ以内(厳守)で記述してください。

様式 6 他制度での助成等の有無

※ 「様式 6 他制度での助成等の有無」にはページ数制限はありません。

※ 研究提案者が、現在受給している、あるいは申請中・申請予定の競争的研究費やその他の研究費（国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの（*））について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入してください。募集要項「2.6.1 (2) 研究提案者の要件」、「4.3 不合理な重複・過度の集中に対する措置」もご参照ください。

（*）応募に当たっては、「統合イノベーション戦略 2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

※ 記載内容が事実と異なる場合には、研究課題の不採択等を行うことがあります。

※ 面接選考の対象となった場合には、他制度への提案書、計画書等の提出を求める場合があります。

※ 締結済の秘密保持契約等の内容に基づき記載することができないなど、やむを得ない事情により記載が難しい場合は、エフォートのみ記入してください（評価の際に外部の専門家に提供されますので記載にはご留意ください）。

※ 現在受給中または受給が決定している助成等について、本人受給研究費(期間全体)が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記入してください。

※ 必要に応じて表、行を増減してください。

【記入例】

他制度での助成等

番号	制度名	受給状況	研究課題名 (代表者氏名)	研究期間	役割 (代表/ 分担)	(1)本人受給研究費 (期間全体)		2026 年度 エフォート (%)
						(2) // (2026年度 予定)	(3) // (2027年度 予定)	
(1)	科学研究費補助金 (基盤研究C)	受給	〇〇〇 (〇〇)	2024.4 - 2027.3	代表	(1) 3,000 千円 (2) 1,000 千円 (3) 0 千円	20	
(2)	〇〇財団 ×× 研究助成	申請	〇〇〇 (〇〇)	2027.4 - 2029.3	分担	(1) 5,000 千円 (2) 0 千円 (3) 2,500 千円		
(3)						(1) 千円 (2) 千円 (3) 千円		
2026 年度に既に受給が確定している金額の合計						1,000 千円		

創発的研究支援事業でのエフォート率

制度名	2027 年度エフォート率 (%)
創発的研究支援事業	〇〇%

※ 各項目の記載は以下に従ってください。

(1)「**受給状況**」 以下のいずれかを記入してください。

- ・受給：現在受給中または受給が決定している研究課題。
- ・申請：申請中または申請予定の研究課題。本申請を除き、「申請」に該当する研究課題についてエフォートは記入しないこと。

(2)「**役割**」 以下のいずれかを記入してください。

- ・代表：その研究課題において、代表者として研究費を受給
- ・分担：その研究課題において、代表者以外の立場で研究費を受給

(3)「**本人受給研究費**」 以下に従って、研究費（総額・年度別）を千円単位で記入してください。

(ア) 代表者として研究費を受給した研究課題

「代表を務める研究チーム（共同研究チームは除く。研究チームが本人のみの場合は代表者本人）」が受給した研究費

(イ) 代表者以外の立場で研究費を受給した研究課題

「本人が分担者のグループ代表者として所属する研究グループ（分担グループが分担者のみの場合は分担者本人）」が受給した研究費

(4)「**エフォート**」

「本提案が採択された場合、2026年度における全仕事時間(教育・医療活動等を含む)を100%とした場合、そのうち各研究課題の実施に必要となる時間の配分率(%)」を記入してください。本提案以外の申請中・申請予定の研究課題（受給状況に「申請」と記入したもの）については、エフォートは記入しないでください。

(5)「**創発的研究支援事業でのエフォート率**」

2027年度のエフォート率（予定）を記載してください。創発的研究支援事業において開始猶予制度を利用し2028年度以降に研究を開始する予定の方は、2027年度エフォート率(%)の欄に、猶予期間に応じて「猶予制度利用：2028年度エフォート〇〇%」等と記載してください

本提案のエフォートと、その他受給中の研究課題のエフォートとの合計が100%を超えないようご注意ください。

様式7 特記事項

※ 様式7は、A4用紙2ページ以内(厳守)としてください。

1. 利益相反マネジメントにかかる申告

※ 募集要項「2.8.2 利益相反マネジメントの実施」に基づき、研究提案者との利害関係の有無について申告してください。記載にあたっては必ず該当箇所を参照してください。

募集要項「2.8.2 利益相反マネジメントの実施」に定める 利害関係者の要件に関して、

該当なし 該当あり

※ 該当がない場合は、下記の表を削除してください。

※ 該当する場合には、どの要件に該当するかも含めて、その理由を簡潔に記入してください。記載内容に基づき利害関係にあるとJSTが判断した評価者は、提案書査読の担当から除外され、書類選考会での発言は控えるとともに、面接選考会では対面しない措置を講じます。

※ (1) 選考に関わる者の利益相反マネジメントについては、応募パネル（審査の主査を希望するパネル）における創発P0・創発アドバイザー（三代目創発P0・創発アドバイザー）が記載対象となります。

※ 創発P0・創発アドバイザーは創発事業ホームページ 研究体制「三代目創発P0・研究体制」に掲載します。（https://www.jst.go.jp/souhatsu/research/all_panel.html）

※ 「三代目創発P0・研究体制」は逐次更新しますので、提案書作成時点で掲載されている創発P0・創発アドバイザーを対象に利害関係の有無について申告してください。

No.	該当する要件	該当する評価者／機関	理由
1	(1) d	△△ △△	研究提案者は、〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にて創発P0〇〇氏と共同研究を実施しており、利害関係者の要件のうち、(1)dに該当する。
2	(3)	株式会社〇〇	研究提案者の所属機関である株式会社〇〇は、JSTの出資先企業である。
3	(1) b	〇〇 〇〇	研究提案者は、20XX年～20XX年にかけて創発アドバイザー〇〇氏が運営する研究チームに所属しており、利害関係者の要件のうち、(1)bに該当する。
4	(2) a	株式会社〇〇	研究提案者は、研究提案者の研究開発成果を基に設立した株式会社〇〇に所属している。利害関係者の要件のうち(2)aに該当する。

※ 募集要項「2.8.2 利益相反マネジメントの実施」に定める利害関係者の要件は以下のとおりです。

(1) 選考に関わる者の利益相反マネジメント

研究提案者と応募パネルの評価者との利害関係の有無について申告してください。

- a. 研究提案者と親族関係にある者。
- b. 研究提案者と大学等の研究機関において同一の学科、専攻等に所属している者又は研究提案者が所属している大学等若しくは大学等を経営する法人の役員その他経営に関与していると見なされる者及び当該法人を代表して対外的に活動する者（ここでいう同一の学科・専攻等とは、最小の研究単位である研究室または研究チーム等よりも一つ上のまとまりを指す。例として大学・大学院においては同一の学科・専攻等、それ以外の公的研究機関においては同じ研究部門等が挙げられる。）
- c. 研究提案者と同一の企業に所属している者又は研究提案者が所属している企業の親会社等にあたる企業に所属している者
- d. 研究提案者と緊密な共同研究を行う者。（例えば、共同プロジェクトの遂行、共著研究論文の執筆、同一目的の研究メンバー、あるいは提案者の研究課題の中での共同研究者等をいい、提案者と実質的に同じ研究グループに属していると考えられる者）
- e. 研究提案者と密接な師弟関係あるいは直接的な雇用関係にある者。
- f. 研究提案者の研究課題と学術的な競争関係にある者又は市場において競争関係にある企業に所属している者。
- g. その他 JST が利害関係者と判断した者。

(2) 研究提案者の利益相反マネジメント

研究提案者が「研究提案者に関係する機関」を参画機関とする提案を行い、「研究提案者に関係する機関」に対して JST から研究資金が配分されることは、研究提案者の利益相反に該当する可能性があります。従って研究提案者と「研究提案者に関係する機関」との間の利益相反について、当該関係の必要性、合理性、妥当性等を考慮して適切に判断し、第三者から疑義を招くこと等を避けるために利益相反マネジメントを実施します。

「研究提案者に関係する機関」とは以下のいずれかに該当する場合の参画機関を言います。なお、a 及び b については、研究提案者のみではなく、研究提案者の配偶者及び一親等内の親族（以下「研究提案者等」と総称します。）についても同様に取扱います。

- a. 研究提案者等の研究開発成果を基に設立した機関。
（直接的には経営に関与せず技術顧問等の肩書きを有するのみの場合、株式を保有しているのみの場合を含む。）
- b. 研究提案者等が役員（CTO を含み、技術顧問を含まない。）に就任している機関。
- c. 研究提案者が株式を保有している機関。
- d. 研究提案者が実施料収入を得ている機関。

(3) JST の利益相反マネジメント

研究提案者の所属機関が JST の出資先企業に該当するか否かについて申告してください。なお、本マネジメントは JST の公正性及び透明性を担保するために実施するものであり、JST から出資を受けていることが、評価において不利に働くことはありません。JST の出資先企業につい

ては下記ウェブサイトを参照してください。
<https://www.jst.go.jp/entre/result.html#M01>

2. その他特記事項

- ※ 異動予定がある場合は、記載してください。現時点で未定の場合はその旨を記載してください。事務手続きのための情報として取り扱います。
- ※ 特別の任務等(学会長等)に仕事時間(エフォート)を要する場合には、その事情・理由を記載してください。